

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場会社名 大宝運輸株式会社  
 コード番号 9040 URL <http://www.taiho-gh.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小笠原 忍  
 (氏名) 大久保 知明  
 配当支払開始予定日  
 TEL 052-871-5831  
 平成27年11月26日

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年3月21日～平成27年9月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,541	△1.7	150	138.1	163	111.3	399	842.4
27年3月期第2四半期	4,619	△3.0	63	122.9	77	48.3	42	35.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	53.10	—
27年3月期第2四半期	5.63	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	8,076	5,574	69.0	740.98
27年3月期	7,810	5,215	66.8	693.05

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 5,574百万円 27年3月期 5,215百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年3月21日～平成28年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	1.7	290	97.9	300	82.7	480	—	63.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P3「(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	7,560,000 株	27年3月期	7,560,000 株
28年3月期2Q	36,731 株	27年3月期	33,836 株
28年3月期2Q	7,524,334 株	27年3月期2Q	7,527,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお当第2四半期決算短信開示時点において、四半期報告書を同日に開示する予定のため、当第2四半期累計期間に係る四半期財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安・株高を背景とした企業収益や雇用・所得環境の改善により引き続き回復基調にありますが、ギリシャの財政問題や中国経済の減速等に端を発する景気下押しリスクの存在や、厳しい個人消費の状況等、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当第2四半期累計期間は、営業収益は前年同四半期と比較して若干減少しました。経常利益は、燃料費が大幅に下がったことにより増益となりました。また、厚生年金基金解散損失引当金の見積りを変更したことにより、特別利益に厚生年金基金解散損失引当金戻入額287百万円を計上しました。

その結果、営業収益は4,541百万円（前年同四半期比1.7%減）、経常利益は163百万円（前年同四半期比111.3%増）、四半期純利益は399百万円（前年同四半期比842.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、3,722百万円(前期末比10.6%増、357百万円増)となり、そのうち現金及び預金は、1,970百万円(前期末比124百万円増)となりました。

固定資産は、4,354百万円(前期末比2.1%減、91百万円減)となり、そのうち有形固定資産は、3,877百万円（前期末比80百万円減）となりました。

流動負債は、1,505百万円(前期末比0.5%増、7百万円増)となり、そのうち営業未払金は、584百万円（前期末比70百万円増）となりました。

固定負債は、996百万円(前期末比9.1%減、100百万円減)となり、そのうち長期借入金は、310百万円（前期末比204百万円増）となりました。

純資産は、5,574百万円（前期末比6.9%増、358百万円増）となり、そのうち利益剰余金は、3,278百万円（前期末比361百万円増）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成27年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」開示時点と変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を変更いたしました。

なお、この変更による影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社が加入する複数事業主制度の「愛知県トラック事業厚生年金基金」は、平成26年2月27日開催の代議員会で特例解散の方針を決議いたしました。平成27年3月期において同基金解散に伴う損失の合理的な見積額の算定が可能となり、解散する可能性が十分高くなったことから、同基金からの通知額に基づき厚生年金基金解散損失引当金547,259千円を計上いたしました。

同基金は平成27年6月18日開催の代議員会で解散の決議をいたしました。また、同基金より、当社が負担すべき金額が当初算出した金額より減少する旨の通知がありました。これに伴い、第1四半期会計期間において厚生年金基金解散損失引当金の見積りを変更いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間において、特別利益に厚生年金基金解散損失引当金戻入額287,622千円を計上し、税引前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,846,360	1,970,873
受取手形及び営業未収入金	1,394,108	1,609,770
貯蔵品	9,280	9,305
その他	119,210	136,682
貸倒引当金	△3,900	△3,800
流動資産合計	3,365,060	3,722,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,976,724	5,001,383
減価償却累計額	△3,839,794	△3,886,241
建物及び構築物(純額)	1,136,929	1,115,142
機械装置及び運搬具	2,606,035	2,524,827
減価償却累計額	△2,291,695	△2,262,873
機械装置及び運搬具(純額)	314,340	261,953
土地	2,457,161	2,457,161
建設仮勘定	2,135	—
その他	224,094	228,152
減価償却累計額	△176,807	△184,699
その他(純額)	47,286	43,452
有形固定資産合計	3,957,853	3,877,709
無形固定資産	36,916	31,425
投資その他の資産		
投資有価証券	272,545	264,900
差入保証金	63,185	62,544
その他	115,238	117,636
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	450,909	445,021
固定資産合計	4,445,679	4,354,157
資産合計	7,810,739	8,076,989

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	514,108	584,199
1年内返済予定の長期借入金	19,680	94,680
未払法人税等	83,740	56,006
賞与引当金	187,200	174,222
役員賞与引当金	15,000	7,500
その他	678,294	589,288
流動負債合計	1,498,024	1,505,896
固定負債		
長期借入金	106,440	310,740
退職給付引当金	119,970	118,407
役員退職慰労引当金	169,909	171,372
厚生年金基金解散損失引当金	547,259	259,637
その他	153,153	136,370
固定負債合計	1,096,733	996,527
負債合計	2,594,757	2,502,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,140,000	1,140,000
資本剰余金	1,120,000	1,120,000
利益剰余金	2,916,792	3,278,667
自己株式	△11,939	△13,066
株主資本合計	5,164,852	5,525,601
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,129	48,964
評価・換算差額等合計	51,129	48,964
純資産合計	5,215,982	5,574,565
負債純資産合計	7,810,739	8,076,989

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
営業収益	4,619,879	4,541,817
営業原価	4,363,121	4,205,123
営業総利益	256,758	336,694
販売費及び一般管理費	193,649	186,430
営業利益	63,108	150,263
営業外収益		
受取利息	305	227
受取配当金	8,280	8,426
受取保険金	3,349	2,452
その他	2,683	2,568
営業外収益合計	14,618	13,675
営業外費用		
支払利息	321	436
その他	26	—
営業外費用合計	347	436
経常利益	77,379	163,501
特別利益		
固定資産売却益	8,622	10,339
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	287,622
特別利益合計	8,622	297,961
特別損失		
固定資産除却損	313	126
特別損失合計	313	126
税引前四半期純利益	85,688	461,336
法人税、住民税及び事業税	12,000	48,000
法人税等調整額	31,296	13,830
法人税等合計	43,296	61,830
四半期純利益	42,391	399,506



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	85,688	461,336
減価償却費	149,051	127,019
貸倒引当金の増減額(△は減少)	360	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,438	△12,978
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2,500	△7,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,334	△1,563
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,012	1,462
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	—	△287,622
受取利息及び受取配当金	△8,585	△8,654
支払利息	321	436
投資有価証券売却損益(△は益)	4	—
固定資産売却損益(△は益)	△8,622	△10,339
固定資産除却損	313	126
売上債権の増減額(△は増加)	△235,480	△215,662
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,641	△24
仕入債務の増減額(△は減少)	33,764	70,090
その他	101,426	△131,329
小計	108,623	△15,300
利息及び配当金の受取額	8,585	8,654
利息の支払額	△321	△436
法人税等の支払額	△16,698	△75,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,189	△82,541
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200,000	△200,000
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△149,324	△39,443
有形固定資産の売却による収入	8,720	10,440
投資有価証券の売却による収入	193	—
その他	△1,964	△2,748
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,374	△31,751
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△8,200	△20,700
リース債務の返済による支出	△2,664	△1,776
配当金の支払額	△37,654	△37,590
その他	△490	△1,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,009	238,805
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91,194	124,513
現金及び現金同等物の期首残高	1,316,214	1,646,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,225,020	1,770,873

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。